

企業版ふるさと寄附金は、国が認定した地域再生計画に位置付けられる地方公共団体の取組に対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額を控除する仕組みです。令和2年度の税制改正により、税額控除が最大で寄附額の約9割までに拡充されました。

本市では、令和3年度に地域再生計画の認定を受け寄附金の募集を開始し、令和5年度は、8事業に対して合計1,090万円の寄附をいただきました。8事業のうち、令和5年度に完了した4事業についての効果検証は、以下のとおりです。

本市寄附受領額（令和5年度） 1,090万円

事業① 学校給食賄材料費への公費補てん事業

担当課 健康給食課

事業概要

急激な物価高騰の進行により、学校給食の食材調達において、保護者から徴収している学校給食費だけでは、これまでと同様の献立作成が困難なため、賄材料費高騰分について、公費からの補てんを行うことで、保護者の負担の増加なく、安心・安全で栄養バランスのとれた学校給食を安定的に提供するもの。以下のとおり補てんを行った。

- ・児童・生徒1人当たり年間1万円を補てん（1食あたり補てん単価50円）

事業費 1億6,613万円（うち寄附金充当額：100万円）

地域再生計画上の位置づけ

結婚・出産・子育ての希望を実現する事業

・母子保健サービスの充実や子育て支援の充実等、安心して子どもを産み育てられる環境の整備を図り、転出の抑制と出生数の増加に取り組むとともに、仕事と子育てが両立できる環境づくりを促進するもの。

成果目標

合計特殊出生率

令和4年度実績

令和5年度実績

令和5年度目標

1.35（令和3年）

1.22（令和4年）

1.64（令和4年）



まとめ（検証結果）

児童・生徒1人当たり年間1万円を公費から補てんすることで、物価高騰による経済的負担の増加することなく、安心・安全で栄養バランスのとれた学校給食を提供できた。

今後は、成果目標である「合計特殊出生率」の目標達成に向けて、令和6年度も同様の事業を実施するなど、引き続き、結婚・出産・子育ての希望を実現する事業を推進していく。

事業② 小中学校屋外AED設置事業

担当課 学務課

事業概要

小中学校において、児童・生徒及び教職員に救命を伴う非常事態が発生した場合に備えて設置しているAEDを、屋外に収納ケースを新設し収納することで、学校施設を利用する地域住民等に非常事態が発生した場合においても利用できるように整備するもの。以下のとおり市内の小中学校にAED収納ケースを設置をした。

- ・小学校23校、中学校11校

事業費 542万3,000円（うち寄附金充当額：30万円）

地域再生計画上の位置づけ

地域を担う人材を育成する事業

- ・地域に根ざした特色ある教育の推進やグローバル教育の推進等、地元愛を育むふるさと学習を推進するとともに、次代のまちづくりや地域の活性化を担う人材を育成するもの。

成果目標

将来の夢や希望の実現に向け努力している児童・生徒の割合※

令和4年度実績

令和5年度実績

令和5年度目標

76.4%

78.1%

83.0%

※生活・学習状況調査で「努力している」「どちらかというとな努力している」と回答した割合の小学1年生から中学3年生までの平均



まとめ（検証結果）

設置後、各学校においてAEDの設置場所や、非常事態が起きた場合のAEDの利用が可能になる旨を記したリーフレットを作成し、公民館等を通じて地域住民に周知した。このことにより、地域住民がこれまで以上に安心して学校を利用できることにつながっている。

今後は、成果目標である「将来の夢や希望の実現に向け努力している児童・生徒の割合」の目標達成に向けて、常にAEDが利用できるよう管理をするなど、地域を担う人材を育成する事業を推進していく。

事業③ 公用車への次世代自動車導入事業

担当課 GX推進課

事業概要

第3次伊勢崎市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）における市役所の運輸部門の温室効果ガス排出量削減目標の達成に向け、公用車に次世代自動車の導入をするもの。以下のとおり次世代自動車を導入した。

- ・電気自動車：2台（うち1台はリース契約）
- ・ハイブリッド車：1台

事業費

560万650円（うち寄附金充当額：10万円）

地域再生
計画上の
位置づけ

時代にあった地域づくりを推進する事業

- ・地域医療体制の充実、住み慣れた地域で安心して自立した生活を送ることができる体制の整備、魅力ある居住環境の整備、交通体系の確立等、魅力ある都市環境を構築して定住の促進を図るとともに、時代にあった持続可能なまちづくりを推進するもの。

成果目標

伊勢崎市が住みよいと感じている市民の割合

令和4年度実績

令和5年度実績

令和5年度目標

74.1%（令和3年度）

76.9%

75.5%



まとめ（検証結果）

次世代自動車を導入したことで、公用車の使用により排出される温室効果ガスの削減に寄与することができた。

今後は、成果目標である「伊勢崎市が住みよいと感じている市民の割合」の目標達成に向けて、令和6年度も同様の事業を実施するなど、引き続き、時代にあった地域づくりを推進する事業を推進していく。

事業④ 防犯カメラ設置箇所拡充事業

担当課 教育施設課

事業概要

犯罪の未然防止や児童生徒が安全に学校活動を行えるようにするため、小中学校に設置されている防犯カメラを更新及び増設し、防犯対策の強化を図るもの。以下のとおり防犯カメラの更新、増設をした。

＜事業内容＞

- ・ 小学校23校、中学校9校

事業費

2,839万3,200円（うち寄附金充当額：30万円）

地域再生 計画上の 位置づけ

安心安全な暮らしを実現する事業

- ・ 安心できるまちづくりや空き家対策の推進等、地域防災体制の充実や防犯体制を強化し、安心安全な暮らしの実現に取り組むとともに、快適で安全な住環境の保全を図るもの。

成果目標

刑法犯認知件数

令和4年度実績

1,420件（令和4年）

令和5年度実績

1,869件（令和5年）

令和5年度目標

1,450件（令和5年）



まとめ（検証結果）

防犯カメラを増設したことで、防犯対策の強化が図られ、児童、生徒の安全な学校生活に役立っている。

今後は、成果目標である「刑法犯認知件数」の目標達成に向けて、防犯カメラの適切な維持管理をするなど、引き続き、安心安全な暮らしを実現する事業を推進していく。

令和5年度に寄附金を充当した継続事業一覧

No	事業名	事業期間	事業概要	事業費 (円)	寄附金充当額 (円)	担当課
⑤	まちなか創業とにぎわい創出を核とした官民連携による持続的経済活力向上プロジェクト	R4～R8	まちなか（伊勢崎駅及び境町駅周辺地区）における創業や、小規模事業者の事業拡大、賑わいの創出を支援することによって、まちなかの経済活力や賑わいの向上を推進し、新たな雇用の創出や地域経済全体の活性化を目指すもの。 令和5年度は、創業促進サポート補助金事業などを実施した。	19,555,574	2,600,000	商工労働課 文化観光課 企画調整課
⑥	販路拡大支援事業	R4～R8	市内企業の販路拡大を目標として、展示会出展等による連携強化や情報の発信及び先進事例等の情報収集を行い、市内企業の企業活動を支援するもの。 令和5年度は、市内企業技術展示会及び製品展示会の開催、県外展示会への共同出展事業等を行った。	13,639,080	4,000,000	企業誘致課
⑦	水生植物園整備事業	R4～R6	華蔵寺公園水生植物園について、自然に触れられる個性的な園地の形成を目指して、水生植物園の再整備を行うもの。 令和5年度は、再整備に向けた設計及び工事等を実施した。	64,058,500	1,600,000	公園緑地課
⑧	（仮称）伊勢崎市新保健センター・子育て世代包括支援センター整備事業	R4～R6	市内4か所の保健センターを統廃合し、市民の健康づくりや子育て支援の拠点となる新保健センターを整備するもの。新保健センターは、子育て世代包括支援センターの機能や感染症・災害発生時における罹災者の支援を行う拠点としての機能を併せ持つ複合的な施設となる。 令和5年度は、建設に係る各種工事を開始した。	1,526,619,551	1,000,000	健康管理センター